

大学名 金沢大学(ダイバーシティ推進機構)

第66号 特集テーマ「女性研究者の育成・活躍」

表題 育児中の研究者支援とダイバーシティ顕彰

金沢大学は令和4年4月1日にダイバーシティ推進機構を設置した。本機構では、すべての構成員が資質と能力を十分に発揮できる教育研究環境を実現することを目指している。

○育児中の支援が女性研究者の更なる活躍に

本学では、「研究パートナー制度」を導入している。本制度は、子育て・介護との両立に奮闘する研究者に対し、実験補助、研究データの解析、統計処理等の補助業務を行うパートナー雇用の支援をする制度である。平成20年度から毎年10名程度の教員に対して支援を行い、多忙な教員の研究力強化に大きく貢献している。

また、パートナーと異なる研究機関で勤務をしている研究者の同居支援をすることにより、育児・介護等の負担が軽減され、女性研究者の更なる活躍につながると考え、令和4年2月に全学で「パートナーとの同居・別居実態調査」を行った。その結果、パートナーとの同居支援の需要が高いことを確認した。今後、対象機関を拡大して調査を実施し、大学間での人材交流をはじめとした研究者の育児支援拡充を目指す。

○ワークライフバランスが研究教育環境の充実に 「金沢大学ダイバーシティ顕彰」

本学では、「はあざみ女性研究者賞」として優秀な女性研究者を表彰している。令和4年度から従来の対象を拡大し、皆が能力を発揮できるダイバーシティ環境推進の取り組みを行った者やグループを表彰する「かいのきダイバーシティ推進賞」を加え、「金沢大学ダイバーシティ顕彰」とした。

育児休業取得促進をはじめとするワークライフバランスの観点からダイバーシティ環境の形成を促進した教職員を表彰することにより、本学の研究教育の将来を担う女性研究者の育成につながることが期待される。

<より広範な連携による人材交流調査>

国立大学間での教員の配置転換可能性を調査

配偶者が教員（研究者）の女性教員の割合やその場合の所属、分野、同居・別居の状況等を調査
→配偶者との別居回避による育児負担軽減へ

